

## 例会予定

- 10月6日(火)・・・「急性期病院から  
慢性期病院へ」  
大森 克介会員
- 10月13日(火)・・・「公共交通と観光戦略」  
清水 一郎会員
- 10月20日(火)・・・「NEXT STAGE～未来への扉～」  
安永 眞澄会員
- 10月27日(火)・・・「防災の話」  
渡部 浩三会員

2015～2016年度国際ロータリーのテーマ



世界へのプレゼントになろう

## 世界へのプレゼントに なろう

2015～2016年度  
国際ロータリー会長  
KR “ラビ” ラビンドラ

## 巻頭メッセージ

### 目標まであと2名の重み

クラブ広報・強化委員会担当理事 **土居英雄**

クラブ広報・強化委員会は4つの委員会で構成されています。広報IT委員会、会員増強・退会防止委員会、会員選考委員会、ロータリー情報・クラブ研修委員会です。各委員長が「クラブ計画書2015～2016」で今年度の目標を書いておられますので、もう一度目を通していただければと思います。

なかでも会員増強は委員会が責任を持って達成に努めなければなりません、松山ロータリークラブの皆さん全員のご協力なしには難しいということも事実です。2015年3月29日の「国際ロータリー第2670地区～地区研修・協議会2015-2016～」でガバナー（当時はガバナーエレクト）の山田戒乗氏は、「会員増強」はRIが一番大事にしていると述べ、ロータリーの素晴らしさを振り返って外へ向け、仲間を増やそうと呼びかけています。

今年度の松山ロータリークラブの会員数の目標は75名です。現在の会員数は7月発行の会員名簿の通り73名です。ロータリークラブの素晴らしさを振り返って外へ、ということは、例会の楽しさや各活動の素晴らしさを伝えることだと思います。その楽しさ、良さを伝えるきっかけに、山田ガバナーが実践されたようにロータリーバッジをいつも着けるようにしてはいかがでしょうか。私たち自身がロータリアンであることを絶えず意識するようになりますし、外部に向かって情報発信していくきっかけになります。

73名は転勤退会後の入会を順調に進めていただいた結果です。これから2名の新規入会は楽ではありません。百里を行く者は九十を半ばとす、の戒めを噛み締めています。

## 第3268回例会 2015年9月1日(火)

出席会員 72 (63) 名中51名 出席率72.86%

前回訂正出席率77.46%

欠席会員 21名 藤村、二神、五味、林、原田、星野、泉谷、市川、菊池、清田、兒玉、真鍋、村上、中川、西野、野村、大塚、高石、鶴田、(片井、亀井)

ビジター 1名 則内 健司  
(京都モーニングRC)

### ニコニコ箱

田中 昌生 卓話お付き合いよろしくお願ひします。

河内 広志 田中さん、WE(私達) スキー(好き) サントリーが好きです。

羽牟 正一 田中さん卓話楽しみにしています。

貴船 正憲 田中さん、卓話楽しみにしています！

棟方 信彦 卓話楽しみです。

佐々木 淳 田中さん卓話楽しみにしています。頑張ってください。

佐藤 昭美 夏を無事に過ごせました。

玉置 泰 松山全日空ホテルのwifiの環境が大変良くなりました。野村会員有難うございます。

米山 徹太 村山さん、父の旅行でお世話になります。

中地 修 9/17にセミナー開催いたします。よろしければご参加下さい。

伊東 毅嗣 (会員誕生祝) 田中さん卓話楽しみにしております。

村山 邦孝 (会員誕生祝)

安永 眞澄 (会員誕生祝)

深見 邦芳 (結婚記念祝) 我が家は毎日が「防災の日」です。なぜなら何時地震がくるか、わからないからです。

石橋 和典 (創業記念祝)

なんとなくニコニコ 大森

早 退 土居

### 卓 話 「ウイスキーの今」

田中 昌生 会員

#### ■鳥井信治郎と竹鶴政孝

ジャパニーズウイスキーの黎明期、ウイスキー造りへの熱い思いが二人の人物を引き合わせた。「醒めよ人、舶来盲信の時代は去れり…」日本人の味覚に合う繊細なウイスキーに想いを馳せた鳥井信治郎と本場スコットランドでウイスキー造りを学んだ竹鶴政孝。ウイスキーという磁力に引寄せられた二人が日本のウイスキーの故郷、山崎の地で醸しだした国産第一号ウイスキー「白札」。しかし、焦げ臭く日本人には受け入れられなかった。目指すウイスキーづくりの思想の違いから二人は独自のウイスキーづくりを始める。サントリーはピュアでクリーンな味わい、バランスに優れたウイスキーを、ニッカは力強く、スモーキーなスコッチタイプのウイスキーを目指し、二人は袂を分かつこととなる。

#### ■ウイスキーの製法

「ウイスキーとは穀物を原料として糖化、発酵の後に蒸留を行い木製の樽で熟成させてできる酒。」なかでも熟成の過程がウイスキーづくりにおいて圧倒的時間を要し味わいに大きな影響を与える。樽に詰めた時は無色透明な原酒が樽の中で呼吸し琥珀色へと色づき、毎年2-3%が「天使の分前」として蒸散していくのである。日本の風土では6-7年の熟成期間を要し初めて製品としてデビューする準備が整う。加えて天使にも上納するため需要バランスに変化を兆すと供給予測は最低でも6-8年レンジで廻すことを余儀なくさせられることとなる。特に10年以上の長期熟成原酒は過去5年と未来の5年、併せて10年のレンジを見越しての製品化となりエリート中のエリートとなる。

#### ■ウイスキーの今

30年に渡り遞減してきたウイスキー市場が、2010年に端を發した「ハイボール」浸透で増加傾向に転じた端境期。過去と未来の間を見据え

ながら、今後ウイスキーの需要が伸張するであろう予測のもと原酒の増産体制を整えるものの長い眠りを経て商品となるのは最低でも10年先というのが気（期）の長いウイスキービジネス

の縮図である。そんな中で新たな嗜好の掘おこしを追い求め「世界のウイスキー」、「グリーンウイスキー」など来る時代への新たなチャレンジが、ウイスキーの今である。

## 第3269回例会 2015年9月8日（火）

**出席会員** 73（64）名中53名 出席率75.71%  
前回訂正出席率80.56%

**欠席会員** 20名 土居、五味、羽牟、原田、泉川、市川、伊東、菊池、三ッ矢、三原、村井、村上、中川、中地、関（啓）、田中（昌）、浦岡、（片井、亀井、中住）

**ゲスト** 2名 長野 佑紀（松山RAC会長）  
井上 愛華  
（松山RAC専門能力開発委員長）

### ニコニコ箱

結城 旬 卓話です。大勢でお騒がせします。  
河内 広志 終活のお話、大変興味があり楽しみです。  
上甲 泰 結城さん卓話楽しみにしております。笑わせてください。  
西村 真也 結城様、卓話楽しみにしています。宜しく願ひ致します。  
齋藤 明弘 卓話が頑張って下さい。  
泉谷八千代（会員誕生祝）今年で“はたち”になりました。（9月9日）  
なんとなくニコニコ 大塚、米山  
早 退 藤村、佐々木、鶴田

### 卓 話 「出張終活セミナー」

結城 旬 会員  
事の発端は、今年2月に、大手町の愛媛新聞

社様のホールにて開催した弊社主催初めての終活セミナーでした。元NHKアナウンサーで現萬翠荘館長の八木健氏の講演、弁護士法人たいようの吉村紀行氏による相続のお話、実際の棺に入る入棺体験、遺影写真の撮影コーナーなどに併せて、昨今の事前相談あれこれを弊社オリジナルプログラムとして行いました。募集からわずか4日間で定員を超える応募があり、「終活」への世間の関心に驚きました。その時のプログラムのひとつをアレンジして、現在各企業や団体さま向けに終活セミナーとして出向かせていただいています。昨今の直葬、家族葬といった小規模葬への経緯、都会と地方の葬儀の根本的な違い、そして本来持ち合わせる葬儀の役割について寸劇を交えながら、参加者のみなさまに分かりやすく、楽しくお葬式を考えるきっかけにさせていただければと考えています。故郷、お墓を地方へ残し、仕事あるいは生活のために東京、大阪で人生を過ごされ、都会で他界された方々と、地域社会に根をはやししながら人生を全うされた方々では、その最後の仕舞いかたが違うことは明白だと思います。自分の、あるいは自分の親の相応しいお葬式を考える手段として、配布させていただいたエンディングノートを埋める作業から進めていただきますことをお勧めさせていただきます。

## 第3270回例会 2015年9月15日(火)

**出席会員** 73(64)名中44名 出席率63.77%

前回訂正出席率77.46%

**欠席会員** 29名 土居、藤村、二神、五味、濱本、林、市川、貴船、清田、河内、兒玉、三ッ矢、三原、棟方、村上、村山、中地、大塚、小野、酒井、関(啓)、高岡、鶴田、浦岡、柳田、(片井、亀井、中住、玉置)

**ゲスト** 2名 洪 政洙(米山記念奨学生)  
石村 浩(川之江RC)

### ニコニコ箱

石村 浩 本日は米山奨学生・ホン ジョンス君をお招きいただきありがとうございます。米山奨学会は将来母国と日本との架け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としており、皆様のご支援に感謝いたします。また本年度のロータリー世界大会は祖国韓国ソウルです。

佐々木 淳 ホン ジョンスさんようこそお越しくださいました。卓話楽しみにしております。

佐藤 昭美 水害にあわれた方にお見舞い申し上げます。

米山 徹太 先日、ローターアクト地区内交流会が盛大に行われました。

中川 創太 ロータリーバッジを忘れました。すみません。

なんとなくニコニコ 浜田、村井、永木

早 退 菊池、西野、田中(和)、田中(昌)

### 卓 話 「日本語と韓国語」

愛媛大学法文学部人文学科

洪 政洙

日本語はきれいなことばだと思います。発音や音の響きが良いということもありますが、ことばの中で常に相手を配慮する気持ちがこもっ

ていると感じます。言語学を専攻していることでもあるので、今日は日本語と私の母国語である韓国語について簡単にお話ししたいと思います。

まず、共通点は、文法が似ています。両国とも主語+目的語+動詞の順で接続詞や終結語尾の位置がほとんど同じです。漢字文化圏であるため、漢字も70%以上使います。そして、同じ漢字語であれば発音が似ていることも多いです。また、同音異義語とオノマトベ(擬声語、擬態語)が発達しています。これらの特徴は、日本語を習う韓国人にとって、また韓国語を学ぶ日本人にとっても初級の段階で親しみを持つポイントになると思います。

大きな相違点は、文字を書くときに現れます。日本は縦書きが基本ですが、韓国は横書きであり、分かち書きをします。韓国語はハングルだけを使うので区切りを明確にするため、日本語は漢字、ひらがな、カタカナで文字を表すので文の中の小さなまとまりがわかりやすいという理由だと思われます。

最後に敬語について考えます。どの言語でも敬意を表す表現はあると思いますが、日本語と韓国語では他言語に比べて敬語が発達していると思います。両国の敬語の特徴は、まず、日本語は相対敬語的性格が強いです。これは年齢による上下関係より、ウチ、ソト、社会的役割、親疎関係などを敬語の基本にしているからです。一方、韓国語は絶対敬語的性格が強く、これは年齢に対する(上下)礼儀を重視しますが、これは、伝統的な儒教思想が影響していると思われます。

私は日本への留学を通じて日本語を学びながら、アルバイトとして韓国語も教えています。ここでは単にことばだけを覚えるということよりことばを基に両国の文化を楽しんでいると思います。これからもことばを基に両国を繋ぐことができれば良いと思います。

第3271回例会 2015年9月29日(火)

**出席会員** 73(64)名中49名 出席率69.01%  
 前回訂正出席率77.78%

**欠席会員** 24名 土居、藤村、五味、濱本、  
 原田、星野、市川、菊池、清田、真鍋、三ッ  
 矢、三原、村井、村上、中地、大塚、酒井、  
 清水、白石、関(啓)、田中(和)、渡部、(片  
 井、亀井)

**ニコニコ箱**

- 泉川 孝三 卓話をさせていただきます。  
 河内 広志 泉川SAA 本日の卓話大変興味があり楽しみです。  
 浜田 修一 泉川さん、卓話楽しみにしています。  
 兒玉 義史 泉川さん、卓話楽しみにしております。  
 野村 靖記 泉川さん卓話たのしみにしています。  
 菅井 久勝 泉川さん、卓話楽しみにしております。  
 柳田 剛 泉川先生、楽しみにしています。  
 中川 創太 (結婚記念祝) 9/28 昨日、20年目を迎えました。  
 なんとなくニコニコ 林、西野、米山  
 早 退 棟方(失礼致します)、佐々木(数年ぶりに手痛い胃腸風邪をひきました。皆様お気を付けください。泉川さん卓話頑張ってください)、左納、田中(昌)、浦岡

**卓 話 「成年後見制度」**

泉川 孝三 会員

従来の禁治産、準禁治産制度を改正し、平成

12年4月1日から現在の成年後見制度がスタート致しました。

スタート当初、「成年後見制度を必要とする人々は少なくとも500万人はおり、その2%にあたる人々が利用すれば毎年10万人となる」と予想した方がおられます。

しかし、最高裁判所事務総局家庭局の資料によると、過去5年間の成年後見関連事件の申立件数の推移は

平成22年	30,079件
平成23年	31,402件
平成24年	34,689件
平成25年	34,548件
平成26年	34,373件

となっており、驚くことに平成24年をピークに少し減少しています。

新聞記事によると、「成年後見制度の利用検討を要する対象者が、認知症高齢者及びその予備軍を含めると約860万人、さらに知的障害者、精神障害者を含めると1,000万人はいるであろう」となっています。ということは、残念ながら成年後見制度は現在十分に機能しているとは言いがたいのかも知れません。成年後見制度は、施行より15年を経過した今、見直しの時期に来ているように思います。

成年後見制度は、判断能力の不十分な人の権利を守る制度です。成年後見制度を必要としている人に対して、今以上に優しく、利用しやすく、身近な制度になることを切望しています。

私も専門職後見人として、スキルを上げて、高い倫理観を保持して職務を遂行していきたいと思っています。

## 理事会報告

### 平成27年9月度理事会決議事項

9月1日(火)

① 広島銀行・国際交流基金定期預金について承認。

② 愛媛県保健福祉医療局より、「愛媛県臓器移植普及月間名義後援について」承認。

## クラブニュース

### 新入会員紹介



氏名：酒井 達夫

勤務先：四国電力(株)  
松山支店執行役員  
松山支店長  
湊町6-6-2  
TEL 946-9706  
生年月日：昭和33年1月16日  
入会年月日：平成27年9月8日  
趣味：読書、ウォーキング

### 9月のお祝い

**誕生祝** 以下5名 伊東(3日)、村山(3日)、泉谷(9日)、高岡(18日)、安永(25日)  
**結婚祝** 以下2名 深見(14日)、中川(28日)  
**創業祝** 以下5名 石橋(1日)、西野(1日)、大塚(1日)、藤村(2日)、土居(11日)

### 配付物

1. ガバナー月信  
1. 2014-15年度I.M.報告書  
1. 近隣RC例会予定表

### 7・8月2ヶ月皆勤

以下30名 浜田、濱本、石橋、泉川、上甲、清田、河内、  
兒玉、三原、三好、棟方、長尾、名本、西村、野村、

大森、佐藤、菅井、関(啓)、高橋、渡部、結城、米山、  
深見、飯尾、亀井、中住、関(宏)、田代、山内

## 会員だより

「日本のクラブ誕生」ロータリー日本60年史より抜粋  
ロータリー情報・クラブ研修委員 深見 邦芳

### 国際ロータリーへの復帰

1945年8月戦争が終わるとすぐ国際ロータリーへ復帰の希望がわき起こり、東京、大阪、京都、神戸などの各曜会は連絡をとり、名簿の交換、出席率の知らせ合いなどをやり始めた。

1946年1月東京水曜クラブ小松隆会長はGHQのバラード大佐に託して手紙を国際ロータリー事務総長ラブジョイに送り、国際ロータリーへの強い復帰の希望を述べたが、今は確答し難いということであった。

大阪においても1946年4月、同じ希望を申し入れたが、同様の返事しか得られなかった。

そのころ東京水曜クラブへはときどきアメリカからロータリアンが訪れていた。

**国際ロータリー復帰協議会** 1947年3月18日東京の工業倶楽部に各地各曜会の有志が集まり、講和条約が締結されたら即時復帰できるよう準備を整えることとなった。

その第1回協議会が同年7月16日開かれ、GHQからもモスMossが出席し、14の会から32名が集まり、戦前のロータリークラブで現在も例会を続けているもの18、その会員数は1,050で、週1回が15、隔週1回が3であると報告された。

第2回協議会は1948年7月14日に開かれたが、このときは16の会から40名が参集した。

**条件付きで復帰きまる** 1949年3月11日、国際ロータリー中央アジア駐在員として、インドのボンベイにいたジョージ・ミーンズが来日し、ロータリー復帰協議会の手島知健会長、東京水曜クラブの役員らと会見し、いよいよ国際ロータリーへの復帰が可能となった旨を告げた。

復帰の条件は次の3カ条で、現在の各曜会、各曜クラブを解散すること。国際ロータリーの定款細則を厳守すること。国際ロータリーへの義務を完全に履行すること、であった。なお各クラブはそれぞれ国際ロータリーに直結するもので、戦前のように日本のクラブだけで一つにかたまることのないように、という注意が付けられた。例えば(日満ロータリー連合)等戦前は国策に沿った思想が

ロータリーに入っていた。

**7クラブで第60地区を形成** かくて1949年3月23日東京仮ロータリークラブができ、3月29日に旧登録番号855で再登録された。東京に次いで、京都(4月5日)、大阪、名古屋、神戸(4月13日)、福岡(4月22日)、札幌(5月2日)がこの年、国際ロータリーへ復帰し、この7クラブで第60地区を形成することになった。

初代ガバナーには、東京クラブの手島知健が選ばれ、国際協議会に出席のため6月1日羽田を飛び立った。

**第60地区第1回地区協議会** 第60地区は1949年7月1日から発足した。7月19日、20日の両日7クラブの会長、幹事に若干のホストクラブ会員、20名余りという少数が参加して地区協議会が開かれ、手島ガバナーから国際協議会および国際大会に関する報告があり、国際ロータリーの方針が示され、とくにロータリー情報とロータリー財団の重要性が強調された。横浜クラブは7月27日に登録された。

**京都で第60地区第1回年次大会** 第60地区第1回の地区年次大会は1950年京都で開かれ、4月8日の大会第1日は、参加者は30クラブから681名と記録されている。出席率が良くてロータリーへの几帳面と熱心とがうかがわれ戦前とは隔世の感があった。

大会は国際ロータリーからのプログラムに沿い、奉仕の四つの道のそれぞれについて、講演なども行われた。

ここで手島知健ガバナーが再びガバナーノミニーに選挙され「第60地区のロータリアンは平和国家として恒久的な世界平和の建設に貢献するため最大の努力をする」という決議が採択された。晩餐会では、こもごも戦前のロータリーについて語り合った。

国際ロータリーは、再承認は1950年12月30日を期限とした。松山は1950年12月3日に復帰したが、宇和島は1965年再加盟となっている。

1920年の東京クラブから1940年5月21日～7月26日の解散まで僅か35日間の宇和島クラブまで戦前37クラブ在ったものが、35クラブが復帰した。

1951年4月6日、第60地区の年次大会が開かれ

## クラブニュース

たが、その日大会に先立ち米山梅吉の追悼会もち、100名余りが故人をしのいだ。年次大会には55クラブから1,500名に近い参加者で盛会であった。

わずか1949年3月～51年4月の2年3カ月にしてたちまち54とこれを追い越すに至った。

戦前は会員の多くが実業人であったのが、戦後はそのほかに医師、弁護士、教育家を始め学者、技術家、芸術家、僧侶、神官などあらゆる職業から会員が入ってきたことも記録破りの拡張をもたらす要因となったといえよう。その後日本のロータリーは順調に推移して現在に至っている。

講和会議時に、サンフランシスコクラブから渡米する日本のロータリアンを歓迎するという招待状が来て、そのとおり条約調印後に「日本の夕」が催されたそうである。このとき、日本のロータリーからも真珠入りのネクタイホルダー500個を寄

贈した。

**第60地区と第61地区に分割へ** 石川、岐阜、三重の各県をふくむ東日本の38クラブを第60地区に残し、福井、滋賀、奈良、和歌山の各県をふくむ西日本の28クラブを第61地区として1952年7月1日から実施することになった。

**『ロータリーの友』の発行** この第60地区最後の大会では、『ロータリーの友』の発行が決定した。8月16日岐阜でその打合せ会が開かれ、1953年1月から毎月発行されることになった。

また従来ガバナー月信は会長、幹事あてで、そのうち必要なものが例会で報告されていたが、大阪ではその写しを印刷して全会員に配布していた。やがて他のクラブもその写しを求めて会員に配布することになった。

### 9月中の出席報告

例会日	区分	会員数	出席会員数	欠席会員数	当日出席率	メイクアップ数	前回訂正出席率	ビジター数
1日		72(63)	51	21	72.86%	4	77.46%	1
8日		73(64)	53	20	75.71%	5	80.56%	0
15日		73(64)	44	29	63.77%	11	77.46%	0
29日		73(64)	49	24	69.01%	7	77.78%	0
平均		72.8(63.8)	49.3	23.5	70.34%	6.75	78.32%	0.25

ご意見・ご要望があればお寄せください。

ホームページ URL <http://www.matsuyama-rotary.jp/>